

立命館大学大学院
2024年度実施 入学試験

博士課程前期課程

経営学研究科
企業経営専攻

入試方式	実施月	論述	
		ページ	備考
一般入学試験	9月	P.1～	
	2月	P.4～	
外国人留学生入学試験 (RJ方式)	9月	P.1～	
	2月	P.4～	
学内進学入学試験(本学4回生対象)	9月		
	2月		
学内進学入学試験(本学他研究科2回生対象)	2月		
APU特別受入入学試験	9月		
	2月		
飛び級入学試験	9月		
	2月		

【表紙の見方】

×・・・入学試験の実施がなかった等の理由で入学試験問題の作成がなかったもの、または、問題を公開しないもの
斜線・・・学科試験(筆記試験)を実施しないもの

立命館大学大学院
2024年度実施 入学試験

博士課程後期課程

経営学研究科
企業経営専攻

後期課程では、筆記試験を実施していません。

立命館大学大学院 経営学研究科企業経営専攻
博士課程前期課程 入学試験

＜一般入学試験（4 月入学）／博士前期＞
＜外国人留学生入学試験（4 月入学）／博士前期＞

論 述 試 験 問 題

試験時間	解答数	持込許可物件
10 : 10～11 : 40 (90 分)	第Ⅰ区分～第Ⅲ区分のうち <u>2 つの区分を選び、その選んだ区分の中から問題を 1 つずつ、合計 2 問を選択して解答すること</u>	な し

■受験にあたっての注意

1. 配布された答案用紙 1 枚ごとに受験番号・氏名を記入してください。
2. 1 問につき 1 枚の答案用紙に解答してください。
3. 途中での退室はできません。
4. 携帯電話・スマートフォン・PHS等を含む通信機器は時計として使用できません。アラーム機能を解除した上で、必ず電源を切ってカバンの中にしまってください。指示に従わない場合は不正行為とみなします。
5. 机の上には、受験票のほか、黒鉛筆、シャープペンシル、ボールペン、万年筆、消しゴム、鉛筆削り、時計以外のものを置かないでください。それ以外のものはカバンなどに入れ机の下に置いてください（ペンケース、消しゴムカバーを含む）。下敷、定規類、そろばん、計算機能・翻訳機能のついている時計、耳栓などの使用は認めません。
6. 問題用紙・下書用紙も、試験終了後に回収します。
7. 試験中に途中で体調が悪くなった場合は、遠慮なく監督に申し出てください。

以下の第Ⅰ区分（戦略・マーケティング分野）、第Ⅱ区分（組織・技術経営分野）、第Ⅲ区分（会計学・ファイナンス分野）のうち、2つの区分を選びなさい。次に選んだ区分の中から問題を1問ずつ選択して日本語で解答しなさい。同じ区分から2問回答した場合は、回答が「無効」となります。

答案用紙は所定の用紙を使用し、選択した区分・問題番号を答案用紙に明記の上、解答しなさい。

※回答例 第Ⅰ区分の問題1と第Ⅲ区分の問題6 など

第Ⅰ区分

問題1 以下の（1）と（2）のすべてに答えなさい。

（1） 次の5つから2つを選び、それぞれ200字以内で説明しなさい。

- ① マルチチャネル・マーケティング・システム
- ② 製品ミックス(製品アソートメント)
- ③ 知覚価値価格設定
- ④ マーケティングリサーチの流れ
- ⑤ ブランド・エクイティ

（2） 製造業である A 社は今まで自社製品の販売を量販店で行っていたが、これから自社の活動を小売事業に拡張し、自社店舗で自社の従業員によって消費者に販売することを決定した。このような場合、製造業が行うべき（ことを推奨される）施策をサービスのホリスティック・マーケティング（3つのマーケティング）の観点から述べなさい。

問題2 以下の（1）と（2）のすべてに答えなさい。

（1） 次の5つから2つを選び、それぞれ200字以内で説明しなさい。

- ① イノベーションの普及プロセス
- ② 戦略における非競争の志向
- ③ グローバル細分化戦略
- ④ 撤退障壁
- ⑤ グローバル生産戦略

（2） 製造業 B 社は、グローバルで複数の事業を運営するコングロマリットである。B 社における競争戦略（全社戦略）と事業構造戦略（事業部戦略）の違いを述べなさい。

第Ⅱ区分

問題3 以下の（1）と（2）のすべてに答えなさい。

（1） 次の5つから2つを選び、それぞれ200字以内で説明しなさい。

- ① I-R グリッド
- ② グローバル型組織
- ③ マルチナショナル型組織
- ④ インターナショナル型組織
- ⑤ トランスナショナル型組織

（2） 多国籍企業のグローバル・イノベーションの視点から、トランスナショナル・モデル(Bartlett & Ghoshal, 1989)の限界性を踏まえて、メタナショナル経営(Doz, Santos & Williamson, 2001)の有用性について、以下の用語をすべて用いて説明しなさい。

察知(sensing)、流動化(mobilizing)、事業化(operationalizing)

問題4 以下の（1）と（2）のすべてに答えなさい。

（1） Heenan & Perlmutter (1979) の ERPG プロファイルに関連した次の5つから2つを選び、それぞれ200字以内で説明しなさい。

- ① 本国志向型(ethnocentric)
- ② 現地志向型(polycentric)
- ③ 地域志向型(regiocentric)
- ④ 世界志向型(geocentric)
- ⑤ ダイバシティ・マネジメント(diversity management)

(2) 日本企業はどうして日本人海外駐在員を重用するかを考えたうえで、今後日本企業が現地人材を活用するために、まずどのような取り組みが必要かを論じなさい。

第 III 区分

問題 5 以下の (1) と (2) のすべてに答えなさい。

(1) 次の 5 つから 2 つを選び、それぞれ 200 字以内で説明しなさい。

- ① 連結損益計算書
- ② 自己資本純利益率
- ③ 内部統制
- ④ 貸倒引当金
- ⑤ 損益分岐点

(2) 利益マネジメント（あるいは、利益調整）とはどのような行為であるか、その具体例に触れながら説明しなさい。

問題 6 以下の (1) と (2) のすべてに答えなさい。

(1) 次の 5 つから 2 つを選び、それぞれ 200 字以内で説明しなさい。

- ① 情報の非対称性
- ② 証券化
- ③ 債務不履行
- ④ 事前のブルーデンス政策
- ⑤ リスクプレミアム

(2) 金融取引において、金融仲介機関が取引費用削減の機能をもつと言われるのはなぜか、その理由を説明しなさい。

2025 年度入学試験（2025 年 2 月実施）

立命館大学大学院 経営学研究科企業経営専攻
博士課程前期課程 入学試験

＜一般入学試験（4 月入学）／博士前期＞
＜外国人留学生入学試験（4 月入学）／博士前期＞

論 述 試 験 問 題

試験時間	解答数	持込許可物件
10 : 10～11 : 40 (90 分)	第Ⅰ区分～第Ⅲ区分のうち <u>2 つの区分</u> を選びなさい。次にその選んだ区分の中から問題を <u>1 つずつ</u> 、合計 <u>2 問</u> を選択して日本語で解答すること。同じ区分から 2 問回答した場合は、回答が「無効」となります。	な し

■受験にあたっての注意

1. 配布された答案用紙 1 枚ごとに受験番号・氏名を記入してください。
2. 1 問につき 1 枚の答案用紙に解答してください。
3. 途中での退室はできません。
4. 携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ等のウェアラブル端末、ストップウォッチなどは、時計として使用できません。必ず電源を切ってカバンの中にしまってください。指示に従わない場合は不正行為とみなします。
5. 机の上においてよいものは、受験票、黒鉛筆、鉛筆キャップ、シャープペンシル、替芯・替芯ケース、消しゴムとケース、鉛筆削り、時計です。それ以外のものはカバンに入れ、カバンを机の下に置いてください。ペンケースも置かないでください。下敷、定規類、そろばん、計算機能・翻訳機能のついている時計、耳栓などの使用は認めません。時計のアラーム機能は、解除しておいてください。
6. 問題用紙・下書用紙も、試験終了後に回収します。
7. 試験中に途中で体調が悪くなった場合は、遠慮なく監督に申し出てください。

以下の第Ⅰ区分（戦略・マーケティング分野）、第Ⅱ区分（組織・技術経営分野）、第Ⅲ区分（会計学・ファイナンス分野）のうち、2つの区分を選びなさい。次に選んだ区分の中から問題を1問ずつ選択して日本語で解答しなさい。同じ区分から2問回答した場合は、回答が「無効」となります。

答案用紙は所定の用紙を使用し、選択した区分・問題番号を答案用紙に明記の上、解答しなさい。

※回答例 第Ⅰ区分の問題1と第Ⅲ区分の問題6 など

第Ⅰ区分

問題1 以下の（1）と（2）のすべてに答えなさい。

（1） 次の5つから2つを選び、それぞれ200字以内で説明しなさい。

- ① チャンネル・コンフリクト
- ② リレーションシップ・マーケティング
- ③ 市場浸透価格設定
- ④ 顧客の生涯価値
- ⑤ 開放的流通

（2） 企業が自社の売上を予測する際には、一般的にどのような方法が使用されるでしょうか。例えば、買い手が特定の条件下でどのような行動をとるかを分析することは一つの方法として考えられます。それぞれの方法で使用するデータ、その特徴、およびメリットを具体的に説明しなさい。3つの方法を取り上げて、詳しく述べなさい。

問題2 以下の（1）と（2）のすべてに答えなさい。

（1） 次の5つから2つを選び、それぞれ200字以内で説明しなさい。

- ① 現地適合理化
- ② 統合型マーケティング
- ③ 上澄み吸収価格設定（market-skimming pricing）
- ④ ブランド拡張
- ⑤ 垂直的統合

（2） 企業は自社のコストなどを評価し、経験曲線（または学習曲線）を基にした価格設定を行うことがよくあります。まず、経験曲線の概念について説明し、その上で、この価格設定方法がどのようなリスクやデメリットを伴うかを具体的に述べなさい。

第Ⅱ区分

問題3 以下の（1）と（2）のすべてに答えなさい。

（1） 次の5つから2つを選び、それぞれ200字以内で説明しなさい。

- ① 委託生産
- ② グリーン・フィールド直接投資（Greenfield FDI）
- ③ リーン生産方式（lean manufacturing）
- ④ グローバル標準化
- ⑤ 自国完結型 R & D

（2） バーノンの国際プロダクトサイクル理論をもとに企業の国際化について説明した上で、現在の状況を説明する際のこの理論の限界について指摘しなさい。

問題4 以下の（1）と（2）のすべてに答えなさい。

（1） 日本の経営に関わる次の3つの用語から2つを選び、それぞれ200字以内で説明しなさい。

- ① 長期雇用
- ② 年功序列

③ 企業別組合

- (2) バブル崩壊以前の日本の大企業では、企業は「従業員のものだ」と考える人が、経営者企業である大企業では一般的であり、資本家企業である大企業でも規模が拡大するにつれ「従業員のものだ」が増える傾向にあったという。その理由を(1)の用語を 1つ以上用いて説明しなさい。

第 III 区分

問題 5 以下の(1)と(2)のすべてに答えなさい。

- (1) 次の5つから2つを選び、それぞれ200字以内で説明しなさい。

- ① 固定資産の種類
- ② 資産除去債務
- ③ 包括利益
- ④ 原価計算
- ⑤ 予算管理

- (2) 国際会計基準（IAS）や国際財務報告基準（IFRS）といった国際基準の採用は、どのようなベネフィットを投資家と企業にもたらすかを説明しなさい。

問題 6 以下の(1)と(2)のすべてに答えなさい。

- (1) 次の5つから2つを選び、それぞれ200字以内で説明しなさい。

- ① 取引費用
- ② 情報の非対称性
- ③ 流動化
- ④ 担保
- ⑤ 金融仲介機関

- (2) 金融政策における「政策目的」と「最終目標」の関係について説明しなさい。